

支 所 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

支所名	祁答院支所	支所長名	東 陸奥雄
-----	-------	------	-------

支所の 経営資源	構成人員		職員	嘱託	計
		計	3 0 人	1 8 人	4 8 人

①支所の使命 (組織の存在価値)	支所は、地域住民に親しまれ、信頼され、身近に感じられるような存在であるべきことから、以下のことを支所の使命とする。 (1) スピーディで質の高い公共サービスを提供すること。 (2) 市民との協働・参画で地域力の向上を目指すこと。 (3) 安全・安心の地域社会の形成を図ること。 (4) 本庁との連携を密にし、潤滑な事務事業を遂行すること。		②組織目標像	【支所の目標像】 (1) 地区コミを核とした市民団体等との連携による地域活性化の促進 (2) 窓口並びに市民からの要望等に対する迅速な対応の心掛け (3) 支所内会議等による情報の共有化と業務の支援体制の確立 (4) 各種イベント・行事等への積極的な参加	
	平成 2 2 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容				
③重点事項	④具体的な成果目標 (めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況 (年度中間)	⑧年度末の達成状況	
共生・協働の推進 (市民生活課)	(1) 地区コミ協会長連絡会及び コミ主事研修会の定期的な開催	① 地区コミ協会長連絡会を隔月 (年 6 回) 開催 ② コミ主事連絡会・研修会を毎月 (年 12 回) 開催	○ ① 会長・主事合同連絡会 を 4 回開催した。 ○ ② 会長との合同会議を含 め、 7 回開催した。	○ ① 会長・主事合同連絡会 を 7 回開催した。 ○ ② 主事連絡会を 5 回 会長との合同会議を含め 12 回開催した。	
安全安心な地域づくり (市民生活課) (産業建設課) (祁答院教育課)	(1) 災害に強い地域づくり及び 防災意識の向上	① 自主防災組織率 (82.1%) の 向上及び防災訓練の実施 ② 急傾斜地崩壊対策事業実施 (中武地区)	○ ① 組織率 85.7%に向上 10 月末で 2 自治会訓練実施 ○ ② 8 月 30 日 発注済 L= 38m H=2.0m	○ ① 組織率 85.7% 6 自治会・1 地区コミ訓練 実施・2 団体講話開催 ○ ② 急傾斜地崩壊対策事業 (中武地区) で危険箇所への 対策を行った。 1 月 7 日完成 ・県単治山事業により (田 地区) で危険箇所への対 策を行った。 L =56m 3 月 8 日完成	

平成22年度

支 所 経 営 方 針

薩摩川内市

	(2) 子供や高齢者が暮らしやすい美しいまちづくり	① 防災行政無線や支所広報紙による的確な広報の実施 ② 交通安全教育の実施 ③ 路傍花壇及び教育機関の花いっぱい運動の推進 ④ ゴミ分別、環境美化運動の推進 ⑤ 学校や地域での青少年育成活動の推進や生涯学習の充実 ⑥ ゴールド集落(3自治会)への支援	○ ○ ○ × ○ × ○ ○	① 防災行政無線広報 79 回 支所だより広報 8 回 ② 「ひまわり号」 2ヶ所 ③ 6月にマリーゴールドとメランポディウム苗(約2,300本)を、22団体へ配布した。 ④ リサイクル推進員研修会は、口蹄疫により中止。環境美化については12名で2ヶ月に1回管内巡視を実施 ⑤ 例年実施しているイベント時のパトロールや美化活動は、口蹄疫により中止。 ・生涯学習として8教室を開設した。 ⑥ 黒木矢立・中・上手滝間3自治会へ支援及び協力を実施した。	○ ○ ○ × ○ ○ ○ ○	① 防災行政無線広報 134 回 支所だより広報 17 回 ② 「ひまわり号」 4ヶ所 「さわやか号」 2ヶ所 ③ 秋は葉ボタン、ノースポール、キンセンカの苗(約2,280本)を21団体に配布した。また、学校では、学校主事が自主的に他の地域の学校の視察を行い、児童と一緒に花いっぱい運動に取り組んだ。 ④ 推進員研修会については、資料配布にて説明。環境美化推進員12名による管内の巡視を実施。(月1回) ⑤ 学校・地域の関係者(約35人)で12月と2月に会を開催し、学校ごとの報告や意見交換を行った。 生涯学習は、後期に4教室を開設し39人が受講した。 ⑥ 3自治会へ支援員が定例会・総会等へ出席し、事業の仕組、補助金申請等の支援を行い、活性化を図った。
--	---------------------------	---	---	---	---	---

支 所 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

			○	・ 鳥獣被害防止施設設置 2 箇所（滝間自治会）	○	・ 鳥獣被害防止施設設置 2 箇所（滝間自治会）
	(3) 安全・安心な地域づくり	① 職員による定期的な地域安全パトロールの実施（毎週水曜日） ② 青パトとの連携による防犯活動の啓発 ③ 市道の道路改良事業の実施（木原小牧線，菊地田線）	○ ○ ○	① 青パトによる職員管内パトロールを 26 回実施した。 ② 毎月 20 日「母の会」と連携により 9 回実施した。 ③ 木原小牧線 10 月 12 日発注済 菊地田線 10 月 25 日発注済	○ ○ ○	① 青パトによる職員管内パトロールを 44 回実施した。 ② 毎月 20 日「母の会」と連携により 11 回実施した。 ③ 市道 2 路線の改良・舗装事業を実施。 ・木原小牧線 L=180m W=5m 改良 2 月 23 日完成 舗装 3 月 18 日完成 ・菊地田線 L=120m W=5m 改良 2 月 25 日完成 舗装 3 月 18 日完成
スピーディで質の高いサービスの提供 （市民生活課） （産業建設課） （教育課）	(1) 本庁及び各課の情報の共有化	① 毎週支所内会議の開催 ② 毎月課長・グループ長合同会議の開催 ③ 安全衛生委員会の開催	○ ○ ○	① 原則毎週火曜日会議 29 回開催した。 ② 毎月 1 回情報の共有化図り 7 回開催した。 ③ 奇数月に 4 回開催した。（委員 10 名）	○ ○ ○	① 原則毎週火曜日会議 51 回開催した。 ② 毎月 1 回情報の共有化図り 12 回開催した。 ③ 7 回開催した。（委員 10 名）
	(2) 職員の意識改革・資質向上	① サービス・マナーアップ職場研修会の実施 ② 男女共同参画の推進	○ ○	① 本庁主催の職員研修への参加 ② 本庁主催の研修会への参加	○ ○	① 本庁主催の職員研修への参加 ② 本庁主催の研修会への参加

支 所 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

		③ ボランティア活動への参加	○	③ 毎月 1 回職員による支所内周辺の清掃作業を実施した。	○	③ 毎月 1 回職員による支所内周辺の清掃作業を実施した。
観光の推進 (市民生活課) (産業建設課)	(1) 各種イベントへの観光客誘致及び職員の積極的な参加 (蘭牟田池公園における 3 イベント開催)	① 納涼花火大会開催 8 月 7 日(土) 毎年同日 ② 外輪山登山大会開催 11 月 28 日(日) ③ 梅マラソン大会開催 2 月 27 日(日)	× ○ ○	① 口蹄疫により中止。 ② 10 月 29 日まで参加者募集 1 2 1 名申込 ③ 11 月実行委員会開催予定。	× ○ ○	① 口蹄疫により中止。 ② 11 月 28 日(日) 実施 117 名参加 ③ 2 月 27 日(日) 実施 525 名参加
	(2) 指定管理団体への支援	① 各種イベントへの支援 ② 新活性化策の支援	○ ○	① 口蹄疫により規模縮小にて実施。 ② 竜仙郷活性化委員会の設置 (8 月) 委員 2 0 名	○ ○	① ロード 51「祁答院ほおずき市」開催 規模縮小のため、前年度を下回る売り上げとなった。 ② 活性化委員会の設置 特産品開発部会・企画販売部会の設置
	(3) いむた池愛好会活動支援 (会員 25 名)	① 蘭牟田池の原風景を後世に残すための各種取組の支援 ② 花と緑の植栽事業の支援	○ ○	① いむた池愛好会を中心に、ボランティア活動 (支援会員 23 名) ② 6 月 27 日植栽の実施(世界一郷水車周辺) 植栽面積 314 m ²	○ ○	① 年間活動計画に沿った活動を実施。 ② 花・緑豊かなまちづくり協働事業の実施。
	(4) グリーン・ツーリズムの推進及び受入農家の拡大 (21 戸加入)	① 黒木浦特産米産地交流事業の推進(名山小と体験交流) (年 3 回実施)	× ○ ○	① 田植交流会 6 月 20 日予定 口蹄疫により中止。 名山小バザー 7 月 3 日に参加 稲刈り交流会 10 月 11 日実施 (名山小 47 名) (地元 12 名)	× ○ ○	① 田植交流会 口蹄疫により中止 名山小バザー 7 月 3 日に参加 (6 名) 稲刈り交流会 10 月 11 日実施 (名山小 47 名) (地元 12 名)

平成22年度

支 所 経 営 方 針

薩摩川内市

		② グリーン・ツーリズム受入 (年5回実施)	○	①第1回受入 5月13日～14日 伊丹市立西中学校 (33名受入) × 第2回受入 6月3日～4日 口蹄疫により受入中止	○	① 第1回受入 5月13日～14日 伊丹市立西中学校 (33名受入) × 第2回受入 中止 (口蹄疫により中止) ○ 第3回受入 10月12日～13日 大阪府立金剛高校 (20名受入) ○ 第4回受入 11月2日～4日 滋賀県立彦根西高校 (32名受入) ○ 第5回受入 11月28日～30日 埼玉県立鳩ヶ谷高校 (29名受入) × 第6回受入 3月16日～18日 埼玉県立伊奈学園総合 高校 (38名受入) 「東日本大震災」により中 止
	(5) 蘭牟田池県立自然公園の自然環境保全の推進	① ラムサール条約登録湿地帯とベッコウトンボの保護及び外来魚駆除の実施 ② 全国トンボ市民サミット薩摩川内大会準備委員会の支援	○	① 蘭牟田池クリーン作戦 4月24日実施(22名参加) ・外来種回収箱 4027 匹 ○ ② 職員サポーターとして 7名が会員となり、実行委員会を支援	○	① 蘭牟田池クリーン作戦 4月24日実施(22名参加) ・外来種回収箱 4059 匹 ○ ② 実行委員会 7回開催し、全国への参加依頼を含め、大会冊子作成まで終了した。

支 所 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

		③ いむた池の環境と農業の共生 (新田地区水利組合との連携)	○	③ 用水路一部改修工事実施 (L=50m) ・ 新田水利組合においても、適切な取水管理がなされ、渇水に対する意識の浸透が図られた。	○	③ 水路改修工事 (L=40m) 井堰改修工事(L=11m) 横断暗渠工事(L=10m) 橋取付工事 (L=5m) 水路修繕工事(L=20m) ・ 新田水利組合においても、適切な取水管理がなされ、渇水に対する意識の浸透が図られた。
農林畜産業の振興 (産業建設課)	(1) 県営中山間地域総合整備事業による農業生産基盤及び農村環境基盤整備の推進 (総額 10 億円)	① 農業用排水施設の整備	○	① 用水路改修工事 3 箇所 用水路改修測量 1 箇所 井堰改修測量 3 箇所	○	① 用水路改修工事 3 箇所 (段, 冷水, 枕山) 用水路改修測量 1 箇所 (滝間) 井堰改修測量 4 箇所 (宇都前, 宇都下 池田, 枯木野)
		② 農道改良事業の推進	○	② 農道改良工事 3 路線 浦山仁田農道 (橋梁工事) 迫畑農道 (L=340m W=4.5m) 木原南方農道 (L=695m W=4m)	○	② 農道改良工事 3 路線 浦山仁田農道 (橋梁工事) (L=14.7m W=4m) 迫畑農道 (L=340m W=4.5m) 木原南方農道 (L=695m W=4m)
	(2) 畜産の推進	① 畜産経営基盤整備による畜舎の整備及び畑地造成	○	① 上手地区 畑地造成 10 月 7 日入札済 畜舎建設 11 月中に入札予定	○	① 上手地区 畑地造成 3 月 10 日完成 畜舎建設 3 月 25 日完成

支 所 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

⑦年度中間総括	・本年度上半期は、口蹄疫による各種行事及びイベント等の中止が相次ぎ、市民に多大な迷惑がかかった。 ・重点事項について、5つの柱を中心に各課が精力的に取り組み、ほぼ目標通りの進捗となっている。 ・特に安心・安全な地域づくりでは、10月31日現在2,285日の死亡事故ゼロ日を達成しており、市民への意識高揚を高めた。 ・支所への苦情・要望等については、各課が速やかな対応により解決を図っているが、数件未処理があり本庁との連携を図りながら早期解決に向けて検討中である。
⑨年度末総括	・本年度は口蹄疫による各種行事及びイベント等の中止(4月～8月)、6月の梅雨前線による災害、7月の国政選挙、8月の猛暑、10月の国勢調査、11月の民生児童委員の改選、2月の鳥インフルエンザ発生に伴う支援等、本年度は多種多様な行事があり、支所職員全員の支援のもとに難局を乗り越えることが出来た。 ・本地域においては、永年の懸案であった川内駅周辺への直通バスが「市内横断シャトルバス」の運行により車を持たない方、更には老人等に変喜びを感じていただいているが、これまでの乗降者が少なく再度検証の必要がある。 ・ゴールド集落支援が、本年度から開始され、本地域には3自治会が該当した。いずれも支援員と共に地区の役員とタイアップしながら、各自治会の活性化が図られた。 ・安心・安全の地域づくりについては、各地区コミ・駐在所・交通安全祁答院支部・各関係機関等のご支援により3月31日現在で死亡事故ゼロ日2,436日を達成したことは、交通安全意識高揚を高めているところである。 ・実行委員会組織で運営されている第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会が、平成23年5月14日(土)～15日(日)に蘭牟田池県立自然公園で開催されるが、本年度市職員サポーター7名の協力を得ながら開催に向けた準備が整った。 ・窓口苦情処理・相談については数名の特定者が来訪されていたが、駐在所及び民生委員の協力により2名は入院措置として手続きを行い、窓口の適正な対応がなされた。